

徳島県立盲学校



【玄関】



【新体育館と校舎改築工事現場】

1 学校の概要

① 幼児児童生徒数

男 18名 女 16名 計 34名

【内訳】

	幼稚部	小学部	中学部	高等部本科		高等部専攻科		合計
				普通科	手技療法科	手技療法科	鍼灸手技療法科	
男子	3	0	2	5	2	2	4	18
女子	5	2	1	1	0	2	5	16
計	8	2	3	6	2	4	9	34

② 校訓

「明るく 正しく 強く」

めざす学校像

「一人一人が生き生きと自己実現と自立に向けてともに学ぶ学校」

ア 視覚障害教育・多様な教育的ニーズに応ずる学校

イ 高い専門性をもつ教職員が連携・協働する学校

ウ 保護者・関係機関と連携し共に育つ学校

エ 地域に根ざし、地域(地域の学校)と共に育つ学校

オ 遠隔地からの通学を支援する学校

③ 環境目標・テーマ

～広げよう学校と家庭で取り組むエコプロジェクト～

○ 学校でも家庭でも「節電」「ゴミの分別」「リサイクル」に積極的に取り組める幼児，児童，生徒づくり

○ 二軒屋駅の環境美化に取り組み，郷土を愛する学校づくり

2 行動方針

- ① 学校における節電に努めます。
- ② 学校におけるゴミの分別に努めます。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行います。
- ④ 地域の清掃活動に取り組みます。

3 行動

① 節電，節水の実態



【使用量を掲示】

② ゴミの分別について



【ゴミ箱には点字でも表示】

③ リサイクル



【集められたふた】

④ リサイクル活動



【分別作業中】

⑤ 二軒屋駅と駅周辺の清掃活動



【清掃活動】



【ゴミ拾い活動】

4 具体的効果

- ◆ 全員が取り組むことによって電気・水道の節約ができた。特に夏の暑いときの電気使用量が減った。
- ◆ ゴミの分別は表示した容器の中に入れられており，週末にはゴミステーションへのゴミ出しが徹底された。
- ◆ 燃やせるゴミの量が減り，リサイクルする資源ゴミの量が増えた。
- ◆ 集まったプルタブ，ペットボトルのふたは，J R C 部を通じて寄付する計画である。
- ◆ ペットボトルは高等部の作業で分別・洗浄・乾燥して業者に持ち込んでいる。
- ◆ 二軒屋駅や周辺の清掃中，近隣の方々より激励の言葉やお礼の声をかけてもらったことが清掃活動の励みになった。

5 改善点

- ◆ ゴミの分別や裏紙の利用，節電・節水は，学校においては定着しつつある。今後も児童・生徒・職員への啓発を続け，個々の家庭でもこれらのことが当たり前のこととして習慣化するよう，取り組んでいきたい。
- ◆ ペットボトルのリサイクルは，現在より多くの量が集まるように広報していきたい。
- ◆ 地域の清掃活動の回数や場所を増やし，地域の人たちに活動の理解をしてもらうと共に盲学校に対して親しみを持ってもらえるようにしていきたい。